

みんなで遊ぼう！  
パペットランド①

# 人形を作ってあそぼう

## ●人形を作ろう

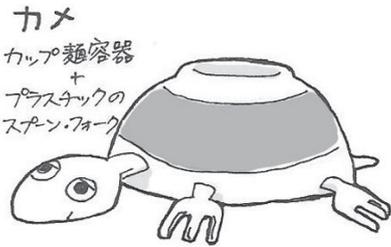
人形には不思議な魅力があります。人形を手にとると、その表情や姿形に合わせて、優しい気持ちや愉快的な気持ち、あるいは強くなったような気持ちになります。子どもにとって、自分よりも小さな人形は、親しみやかかわいらしさを感じさせる存在であり、余裕を持って安心して接することができるのです。さらに、自我がまだ十分発達していない幼い子どもたちは、人形と自分を同一視し、より自分たちの身近な存在として受け止めることができるのです。

「こんにちはー！」人形が登場し挨拶をすると、子どもが大きな声で挨拶を返してくれます。そして人形たちのやりとりを目を輝かせながら真剣な眼差しで見つめます。このように子どもたちは人形が大好きです。

「みんなで遊ぼう！パペットランド」は、子どもにとって身近な存在である〈人形作り〉、〈人形遊び〉を通して、コミュニケーションする楽しさを体験し、さらに〈人形劇〉に発展していく中で表現することの醍醐味を知ってもらうためのプログラムです。

### ■身近な素材を使った いろいろな人形

タワシやスポンジ、はさみや鉛筆などに目玉のシールを貼ってみましょう。簡単に人形に変身します。



### ■くつしたで作るパクパク人形

- あおむし=くつした+目玉シール
- ・目玉はシールだとはがれやすいので、両面ガムテープがおすすです。
  - ・靴下のかかるとに親指を、残りの指はつま先に！
  - ・手にフィットさせるため少し小さめの靴下を用意します



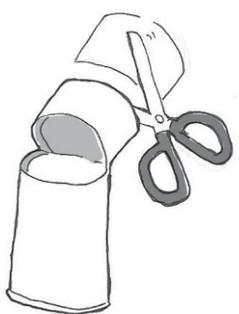
### ■紙コップで作るパクパク人形

パクパク人形の特徴は大きな口。しりとりにやコーラス、早口大会などおしゃべりをするのに適しています。また紙コップの上に自分の好きなキャラクターの絵を書いて、よりオリジナリティの高い人形を作る楽しさもあります。



- 材料と道具
- ・紙コップ
  - ・はさみ
  - ・のり
  - ・色紙

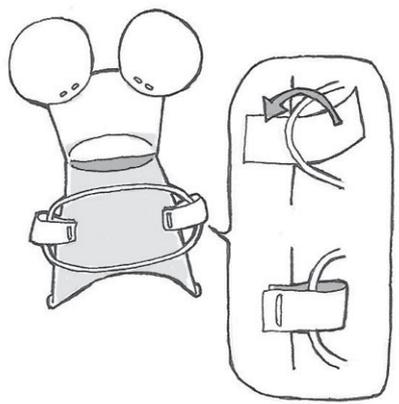
①紙コップをはさみで半分くらいに切り開きます。(つなぎ目を利用します)



②頭の部分を少し切り落とします。



③ホチキスで耳をとめます。顔や体を描きます。



④輪ゴムをはさんだ紙テープをホチキスでとめます。

## ●人形であそぼう

人形ができれば、〈人形遊び〉に発展させてみましょう。

"人形遊び"や"おままごと"、"変身ごっこ"などの"ごっこ遊び"は、自分の望んでいるもの、あこがれているものを実現したいという欲望や、自分の恐れているものを克服したいという願望を、自分以外のものに自分を仕立てることによって実現し、満足味わおうとする行為です。そのため、自分が思い描く理想の姿を人形に投影することができるのです。

また、"ごっこ遊び"の世界では自分の思いや考え、行動などを自由に表現しやすく、さらにこの言葉や行動が周りに受け入れられるか、共感されるかを確認することもできます。このプロセスを繰り返すことで自分の行動や言葉に少しずつ自信を持つことができます。

周りの人形となかよくなったら、口を開いたり閉じたり声を出したりして、人形の操作に慣れてみましょう。

## ■人形遊びの準備体操

(準備体操によって会話の主が子どもから人形に移行していきます)



- ①どんな人形ができたか、子どもたちに聞いてみましょう。
- ②子どもたちが作った人形と挨拶してみましょう。はじめは子どもたちに語りかけるように、そして次は子どもたちが作った人形に語りかけます。徐々に会話の主が子どもから人形に移行していくきっかけを作っていきます。
- ③人形を使ってコミュニケーションをとっていきましょう。はじめはスタッフが子どもたちの仲立ちをすることが大切です。

## ■人形遊びスタート

周りの人形となかよくなったら、口を開いたり閉じたり声を出したりして、人形の操作に慣れてみましょう。



イラスト：いがき けいこ